

平成 25 年度 第 2 回府中市食育推進計画推進評価協議会議事録

日 時 平成 26 年 1 月 23 日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 30

場 所 府中市保健センター分館 3 階研修室

出席者 < 委 員 >

上岡会長 並木副会長 宇留間委員 齊藤委員 逸見委員 谷中委員

< 事 務 局 >

健康推進課 横道課長

健康推進課 鈴木補佐

健康づくり担当 福田副主幹

健康推進課 野勢主任

健康推進課 加藤

経済観光課 大木係長

生涯学習スポーツ課 市ノ川係長

市民活動支援課 竹内係長

高齢者支援課 山中主査

保育課 熊谷所長

学務保健課 後藤主任

欠席者 < 委 員 >

なし

< 事 務 局 >

なし

《 次 第 》

1 開会

2 協議事項

(1) アンケート調査結果について

ア 乳幼児期アンケート結果について

イ 市民アンケート結果について

ウ 体力テスト (学童期および思春期) 結果について

(2) 第 2 次府中市食育推進計画構成内容について

(3) 平成 26 年度協議会の進め方について

3 その他

《資料一覧》

資 料 1 食事についてのアンケート調査

資料 1 - 1 食事についてのアンケート調査の結果

資料 1 - 2 平成 25 年度 東京都児童・生徒体力・運動能力・生活・運動習慣等調査結果より

資 料 2 「健康」に関する市民アンケート調査

資料 2 - 1 「健康」に関する市民アンケート調査結果

資料 2 - 2	栄養に関するアンケート集計
資料 3	第 2 次府中市食育推進計画（仮称）について（案）
資料 4	第 2 次府中市食育推進計画の目標について
資料 5	第 2 次府中市食育推進計画（仮称）策定および策定スケジュール（案）
参考資料 1	第 2 次食育推進基本計画資料
参考資料 2	第 2 次東京都食育推進計画概要版

《議事概要》

1 開会

<事務局>

平成 25 年度第 3 回食育推進計画推進評価協議会の開催にあたり、前委員の退任により、新規委員就任しました委員をご紹介します。

<委員>

11 月より前任から引き継ぎました。よろしくお願いいたします。

- ・資料確認
- ・傍聴希望者なし

司会進行が事務局から委員へ移る。

2 協議事項

<委員>

協議事項（1）アンケート調査結果について事務局より報告をお願いします。

<事務局>

協議事項（1）ア 乳幼児期および市民アンケートについて説明させていただきます。資料 1 と追加資料 1 - 1 をご覧ください。また計画書には 6 ページ府中市の食をめぐる現状と課題からアンケートについての記載があります。

平成 27 年度の改定にむけて、乳幼児期におけるアンケート調査を実施しました。資料 1 がアンケートの内容になります。アンケート項目に関しては前回協議会でのご意見を加味し、食べていないではなく、食べているという表記に変更いたしました。

『1 朝ごはんは食べていますか』の問いの回答で「イ 週のうち 1~3 日は食べていない」は「週のうち 4~6 日は食べている」に「ウ 週のうち 4~6 日は食べていない」は「週のうち 1~3 日は食べている」に変更しました。表記は異なりますが、同じ意味となります。また、食育に関してのご意見を伺う欄を

設けています。

資料 1-1 アンケート調査の結果についてですが、実施期間は平成 25 年 8 月～10 月。実施場所、事業および人数は 3 歳児健康診査で 3 回実施し、合計 199 人、府中市立西保育所、四谷保育所、西府保育所、住吉保育所の 4 歳児クラスで実施し、合計 77 人の回答をいただきました。調査対象は 3～4 歳児となり、保護者が記入しました。

平成 22 年度策定時の結果と今回の結果を記載しています。実施人数は冊子の 6 ページに記載していますが、平成 22 年度策定時は 477 人、平成 25 年度は 276 人になります。調査人数は前回に比べて少なくなっていますが、おおよその傾向をみるとしてこの数値で報告させていただきます。

『1 朝ごはんは食べていますか』の問いでは、「ア 毎日食べている」は、平成 22 年度は 96.7%、平成 25 年度は 95.6%となり、若干減っている結果になりましたが、ほとんどの子供が毎日食べていると考えられます。その反面、「イ、ウ 週のうち食べていない日がある」の問いでは平成 22 年度は合わせて 3.3%、平成 25 年度は 4.4%となり、増えています。朝食の欠食は、成長著しい乳幼児期の子供の栄養の不足が心配されます。今後も朝食の大切さを伝えていく必要があると思われま

す。食べない理由としては、平成 25 年度は「イ 食欲がない」が全体の占める割合が増えています。食欲がないのは夜遅い食事や朝起きてすぐに食べるためなどの理由も考えられます。生活リズムの乱れも背景にあるのではと推測します。

『3 1日に1度は家族と食べていますか』の問いでは、平成 25 年度は 90% 以上の子供が食べている結果になり、前回より増加してはいますが幼児期に残り 9.8%の子どもが 1人で食べている状況にあることは子供の育ちを考える上でも問題と考えられます。国では第 2 次食育推進計画においても共食を目標に掲げており、今後、市でもその大切さを周知していく必要があると感じています。

以上が乳幼児期における食事についてのアンケート調査の結果になります。また、裏面は食育の取組についてのご意見を伺った内容になります。食に関する取組など様々なご意見をいただきました。

<事務局>

協議事項 (1) イの平成 25 年度健康に関する市民アンケートより、「栄養に関する集計」をご報告させていただきます。資料 2-1、2-2 をご覧ください。このアンケートの調査対象は住民基本台帳より、18 歳以上の市内在住者 3000 名を府中市の年齢構成に従って抽出し、調査方法は郵送配布、郵送回収で、調査期間は平成 25 年 8 月 1 日 (木) から 8 月 31 日 (土) までとしました。

回収結果は総回収数 1365 件（45.5%）のうち、有効回収数 1361 件（45.4%）でした。

『1 朝ごはんを食べていますか』の問いで「毎日食べている人」の割合ですが平成 22 年度に比べてどのライフステージとも減っているという結果となりました。特に青年期～中年期においては約 15%減っているという結果で、若い世代で朝ごはんを摂取する習慣がついていないという現状がわかります。

『2 朝ごはんを食べない理由』の問いでは青年期～中年期は「時間がない」という回答が半数以上という結果になりました。また、中年期～初老期は「食べる習慣がない」という回答が多い結果となりました。高齢期においては平成 22 年度では「食欲がない」という回答がほとんどでしたが平成 25 年度の結果では「食習慣がない」という回答が半数以上を占める結果となりました。

『3、1日に1度は家族と食べている』の問いでは年代が上るとともに、「食べている」と答えた人の割合が増加していますが、平成 22 年よりは各ライフステージとも減少しているという結果となりました。その理由として「3-1」ですが、「1人暮らし」を選ぶ人が減っており、その他の理由での回答が多いという結果となりました。

『4 食事の時間は楽しいですか』の問いでは高齢期で 9 割以上の方が楽しいと回答している結果となりました。

『5 食育について聞いたことがありますか』の問いでは「聞いたことがある。」と回答している人は各ライフステージとも 70%を超えている結果となりました。特に、青年期～中年期にかけては平成 22 年度に比べ 5.8%増という結果となり、若い世代で“食育”が浸透してきているのではないかと考えられます。

『6 食事バランスガイドについて知っていますか』という問いでは、「知っている」と回答した人が平成 22 年度の結果に比べ各ライフステージとも減少している結果となりました。

『7 BMIによる適正体重を知っていますか』という問いでは「知っている」と回答した人は各ライフステージとも全体の 5 割前後という結果となりました。認知度が下がっているという事実から、様々な場面で周知する必要があると考えられます。

『7で適正体重を知っていると回答した人で 8 現在適正体重ですか』の問いでは各ライフステージとも“知ってはいるが維持するのが難しい”という結果となりました。

以上の結果より、すべてのライフステージで引き続き『食を通した健康づくり』の大切さを周知していく必要があると感じています。

<事務局>

協議事項（1）ウ 体力テスト（学童期および思春期）結果について説明させていただきます。資料 1 の 2 枚目に添付してある食事についてのアンケート調査が内容になります。資料 1 - 2 はその結果になります。アンケートについ

ては東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果より記載させていただきました。調査人数ですが、平成 22 年度は学童期にあたる小学 5 年生は 2140 人、平成 25 年度も同人数となっています。思春期にあたる中学生は平成 22 年度は 1769 人、平成 25 年度は 1724 人となっています。

『1 朝食は食べていますか』の問いでは、小学 5 年生の結果は「毎日食べる」が平成 22 年度は 90%でしたが平成 25 年度は 94.5%に増加しています。「毎日食べない」は 1%から 0.2%と減っており、ほとんどの子供が毎日、朝食を食べる習慣がある結果になっています。中学 2 年生の結果についても「毎日食べる」が平成 22 年度は 83.6%ですが、平成 25 年度は 88.5%と増えています。また、「まったく食べない」と回答した割合は、学童期と同様に平成 22 年度の 3.1%から平成 25 年度は 2%に減っています。学童期に比べると食べている割合が少ないのは今回も同じで、生活習慣の乱れなどが原因のひとつと思われます。全体としては朝食を食べている児童生徒は増加しており、学校での啓発や家庭での食事の大切さを親世代に伝えていくことが必要と思われます。

『2 ふだんの夕食は家族と一緒に食事をしていますか』の問いでは平成 22 年度は追加項目として調査したものであり、今回は調査されていません。参考として追加資料で配付しました子ども・子育て支援に関する市民意向調査集計結果の食育関係部分の抜粋をご覧ください。こちらは子ども・子育て支援法に基づく、子ども・子育て支援事業計画策定のための基礎資料とすること、及び現行の次世代育成支援行動計画後期計画の評価・検討を行うことを目的として平成 25 年 10 月子育て支援課が調査実施したのになります。

『ふだん、朝食をとっていますか』の問いでは、小学生および中高生の 90%以上が朝食をほぼ毎日食べていることがわかります。

また、『夕食は誰と一緒に食べていますか』の問いではいつも一緒に食べている割合は小学生が 88.1%、中高生は 70.6%となっており、学校生活や部活動等忙しくなる中で一緒に食べるのが難しくなってくる時期であるかと思われます。家庭を通して食事の大切さを伝えてき、促す必要があると思われます。以上、学童期および思春期のアンケート結果になります。

<委員>

乳幼児のアンケート結果について、委員からご意見・質問等お願いします。アンケートは保護者が記入しているという事ですが、「資料 1-1 3 1 日に一度は家族と食べていますか」の問いで「イ、ウ、エ」の食べていないという回答をした人が 10%位いますが、対象が 3~4 歳児ということで、この年代の『孤食』とはどういう状況なのかが気になりました。事務局側の報告ありますでしょうか。

<事務局>

アンケート時に詳細までを把握しておりませんが、「子どもだけで食べさせている」という推測はされます。やはり「孤食」は問題があると考えられるので詳細を検討し改善に努めるようにしていきたいと思います。

<委員>

資料1-1の裏面で府中市の食育の取組についての記載があり、主に保育所に通われている保護者からの意見かと思いますが保育園の食事・おやつについて満足されているのがわかりますが、「食育を毎回楽しみにしているようです。」という意見が見られます。保育所ではどういう取組をしているのか報告をお願いします。

<事務局>

市立保育所の食育の取組ですが、日常的なところでは、3歳児、4歳児、5歳児クラスに交替で給食に使う食材（主に野菜）を手でちぎったり、皮をむいたりして給食室に運んでもらっています。必ず火を通す食材をお願いしているので細菌感染には配慮しております。その他の行事としては、カレーパーティー、豚汁パーティーでは納品先の業者にあらかじめお願いをして、子どもたちが食材の購入、購入した野菜を保育室で栄養士が調理するのを見せたりしています。本日はおもちつきの季節行事があり、子どもたちが手作り体験をしています。

また、園庭の隅や地域の場所を借りて畑作りをしています。四季を通して野菜を育て、収穫でき、収穫した野菜は給食で調理しています。こういった取組を年間通じて行っていることが大きいと思います。

最後に、献立の栄養素別表示の掲示や給食のサンプル展示などをして保護者に見てもらっています。

<委員>

体験という部分が多いということがわかりますね。

<事務局>

もう一点、先ほどの「食事についてのアンケート調査」で、園児の中には延長保育を利用する子どもがいます。「家族と食事をしていない」という数字に影響している可能性があるのではないかと推測されます。

<委員>

「孤食」ではないということですね。

<事務局>

家族と一緒に食べているけれども、園児や保育士等と一緒に食べているということになります。アンケートの設問だけでは読み取れないと推測されます。

<委員>

関連して、保育所の子どもたちの朝食を含めて家庭での食事状況など、保育園の先生方が感じることなどがありましたらご報告をお願いします。

<事務局>

保育時間が長い子どもたちばかりですので、朝食を食べてきていない子供の割合は少ないと思います。日中の活動にも影響しますし保育士側からみても食べてきていない子供はすぐにわかります。日々の連絡帳に食事の摂取の記載する欄もあります。欠食している児の保護者には個別に話をします。栄養士が中心となって簡単に作れるレシピなどを保護者懇談会などに配布したりしています。

<委員>

保育所に通っている子供は保育士の目が届いているということですね。それ以外のお子さんに対して啓発が必要ということですね。委員何かありませんか。

<委員>

保育所は日々の中で多くの目で子どもたちを見ることができ、食事をする時も会話ができる環境ですが、家庭の場合は食べるだけになってしまう場合があるのではないかと思います。また、集団生活をしていると、友達が食べているから自分も頑張ろうとする気持ちが生まれてくると思います。孤食ではなく何人かで会話をしながら食べるという点が大切だと思います。

<委員>

市民アンケート結果について委員からご意見・質問等お願いします。

結果をみると、朝ごはんを食べている人の割合が少なくなっているということがわかります。青年期～中年期の欠食については国でも問題として取り上げていますが、中年期～初老期、高齢期の欠食については事務局では何か考えられることがありましたら、お願いします・・・

『3 日に1度は家族と食べている』の問いでは高齢期では数字が減っていますが、共食というのは国の第2次食育推進計画ではもともと、子供中心に家族でという考えのもとですので、成人の方々、特に高齢期の方は家族というより、お友だちとの共食が大事になってくるのではないかと考えられます。

体力テストのアンケート結果について委員からご意見・質問等お願いします。追加資料を参考にしてみましても、小学生も中学生も朝ごはんをほぼ毎日食べているという割合が90%以上結果となっていますが、家庭への啓発が大切になってきますが、学校で啓発をしているということが数字に表れているのではないかと思います。

(2)第2次食育推進計画構成内容について事務局側から説明をお願いします。

<事務局>

第2次府中市食育推進計画構成内容について、説明させていただきます。資料3をご覧ください。

「ア 計画の位置づけ等について」ですが、第2次食育推進計画は、食育基

本法に基づき作成するもので、国、都の食育推進計画を参考にさせていただき、併せて府中市の最上位計画である第 6 次府中市総合計画、保健計画など、関連する計画との整合性を図りながら、策定していくことを位置づけております。計画期間は、平成 27 年度からの 5 年間とし、計画推進の評価としましては、平成 29 年度に中間評価を行い、計画年度が終了する平成 31 年度に最終評価を行うことを考えています。

次に「イ 委員構成について」ですが、2 次計画の策定、評価を行う本協議会の委員構成となります。案としてお示ししているものになりますが、委員の人数及び所属の内訳は、現在の協議会と同様だと考えております。公募委員の募集については 3 月 1 日号の広報に掲載予定です。なお、事務局については、現在の担当課で担当し、2 次計画の素案は事務局で作成後、協議会委員の皆様にお示しし、お諮りしたいと考えております。

「ウ 内容について」ですが、第 1 次を検討し改訂を行いますので目次の対照表という形にさせていただきました。第 2 次食育推進計画では、黄色で色付けしている箇所の削除や変更を考えておりまして、後程ご意見をいただきたいと思っております。

まず、「第 1 章 2 府中市の特色」ですが、第 1 次計画では府中市の面積、位置、人口等を記載しておりましたが、今回は第 2 次計画ということになるので、省いて良いのかと考えています。

「第 3 章 2 推進計画の取組及び目標」についてですが、第 1 次計画の 23 ページも併せてご参照ください。第 1 次計画では、食育推進目標体系としまして、「食でつなげよう育てよう府中の輪」というスローガンのもと、年齢横断的な共通目標とライフステージごとの目標を掲げた計画となっております。

第二次計画では、簡潔な形でまとめるという観点から、目標は市民全体の取組としてまとめて示し、全体の目標に沿ったライフステージごとの取組を記載していく形で策定を進めたいと考えています。

「第 4 章 具体的施策、推進体制及び目標値」ですが、第 1 次計画では指標を掲げそれぞれの目標値を提示していました。第 2 次計画では、現状の数値を示しますが、具体的目標値は提示せずに目指す目標と取組を掲げていきたいと考えています。食育の取組は数値で示すことが難しいものも多くあり、事業も単年度で実施するものもあります。全体の目指す方向性を事業やイベント等で啓発して、取組んでいくことを計画に盛り込んでいければと、考えています。

続きまして、資料編「食育関連事業実施状況について」ですが、第 1 次計画では事業の経年の実施状況の評価してきましたが、単年度で行う事業や、たとえば事業に協力できる地元の方がいない等の状況により開催できない事業等もあることから、第 2 次計画では事業の経年的な実施状況を詳細に評価する形は

とらず、参考資料として事業掲載をしようと考えております。

具体的には、第2次計画では、平成26年度の市内の食育に関する事業を参考資料として掲載したいと考えています。説明は以上です。ご意見よろしくお願いたします。

<委員>

資料3について、委員の皆様ご意見・ご質問ありますでしょうか。

委員の構成についてですが、事務局の方から説明がありました。これまでと同様な構成ということでよろしいでしょうか。

続いて資料4についての説明をお願いします。

<事務局>

資料4について説明させていただきます。第2次府中市食育推進計画の目標になります。左から第1次府中市食育推進計画、来年度検討する第2次府中市食育推進計画、国の定めた第2次食育推進基本計画のそれぞれのスローガン、目標、ライフステージごとの目標について記載しています。第2次食育推進基本計画の黄色で色付けしている箇所は新規項目となっています。

第2次府中市食育推進計画のスローガンおよび共通目標は新しいものを検討していきます。スローガンは計画書の内容を示すものとなります。事務局でふさわしいものを検討していきます。共通目標については、第2次第2次府中市食育推進計画は第1次を基本として、国の策定した第2次食育推進基本計画の内容も加味したものにしていきます。

ライフステージごとの目標は資料3でもお話ししたように、ライフステージごとの特徴を踏まえた構成を示し、それぞれの取組を記載していきます。内容については国の新規項目も含めて検討していきます。以上大まかな内容になりますが、第2次府中市食育計画の目標と考えています。ご検討をお願いします。

<事務局>

補足で説明させていただきます。本年度は、評価だけの協議会ですが、来年度、第2次計画の策定が始まり、現在、アンケート調査が一通りまとまりましたので、大枠のイメージについて皆様にご意見をいただき事務局で検討していきたいと考えております。

一次計画では、一つ一つの事業を評価してきましたが、食育計画では実施回数など数字による評価はそぐわないこと、事業自体が詳細なことなどから、かえって評価しづらい印象がありました。更に市のスローガンの一つである選択と集中という観点から、事業の縮小や統合が行われていることなどもあり、第2次計画では評価方法を変更することを考えているものです。

評価委員さんにも毎回、膨大な資料を送らせていただき、重点目標の数値目標を数字で見えていただき、評価にご意見をいただいております。

今までを振り返りながらご意見をお願いできればと思います。よろしく願いします。

<委員>

資料3、資料4について事務局側から補足説明がありました。大きなスローガンは第2次国・都の計画、府中市の第1次食育推進計画をふまえて、事務局で決めていくことになるのかと思います。

今まで、ライフステージごとの評価が大変だったと思いますが、事務局からの報告もありましたように、継続性が難しい事業等もあるということや、評価の方法も難しかったと思います。個々の事業を評価するのではなく、府中市がどういう取組をやっていく・いったか・きたかということに変えてはどうかというのが事務局側の提案かと思います。この点につきましては、府中市の食育推進計画の23ページの共通目標を事務局の方で検討していき、ライフステージごと目標は具体的な数値ではなく、どういう取組をやっていくかという、具体性をもったものにされるという意味かと思います。大きく変わっていることは各ライフステージの目標、各事業の内容の評価だと思いますが、委員の皆様、何かご意見がありましたらお願いいたします。

事務局からお示しいただいた方向性で検討してもらおうということでよろしいでしょうか。

<事務局>

計画の構成につきましては担当課の係長以上で来年度に入りましたら検討していく予定です。委員の皆様には、事前に意見の出しやすい資料をお示しすることに心がけてまいりますので、協議会でご意見をいただければと思います。

黄色の策定変更についてはおおむね了承が得られたということで進めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

<委員>

府中市第2次食育推進計画策定するにあたりまして、東京都第2次食育推進計画もふまえてということがありましたので、委員から説明をお願いします。

<委員>

参考資料2にございます、平成23年7月改正の東京都食育推進計画(概要)について補足させていただきます。

平成18年9月に最初の東京都食育推進計画を策定しました。今回は5年後の改正になります。最初の東京都食育推進計画の指標のうち、例えば、「生産体験学習を行う生産者と交流の図れる食材を学校給食に利用する」「子どもが基礎的な食習慣を家庭で身につける」という項目については、ある程度指標を達成したので、それ以外の達成できなかった指標については継続の指標とし、新たに加えた項目につきましては小中学生の食生活や食習慣に関しては保護者や周囲

の影響が大きいことから日本食について積極的に進めるべきという意見をうけ、日本食に代表される様々な品目を組み合わせたバランスの良い食事についての指標を加えた形で構成しております。

第二次の食育推進計画の特徴としましては「ライフステージごとの重要テーマを設定し重点的に実施する」としたところがございます。また、「都市に集積する食のサービス、人材、情報を活用する」という点も特徴です。食文化など様々な情報を得られるよう、東京発の食育を発信するというのが中心に書いてございます。簡単ですが終わらせていただきます。

<委員>

委員の皆様ご意見・ご質問ありますでしょうか。事務局から引き続きお願いします。

<事務局>

資料5について説明させていただきます。差し替えた資料をご覧ください。平成25年度については第3回協議会の後は、第2次府中市食育推進計画策定のための準備をすすめていきます。

平成26年度は第1次計画の最終年度になります。事務局は4月下旬に連絡会を開催し関係各課と第2次計画の素案を作成していき、8月初旬に第1回協議会を開催します。ここでは、平成25年度の重点取組を含めた第1次計画の総合的な評価をしていただき、第2次計画の素案について検討していただきます。協議会でのご意見を受けて、加筆および修正したものを10月初旬の第2回協議会で再度検討していただき、10月下旬から1か月間パブリックコメントを受け、年明け1月ごろの第3回協議会でパブリックコメントと併せ、最終確認をしていただき、年度内に完成となります。

第2次の実施期間は平成27年度から31年度の5か年間とし、毎年庁内における食育関連事業は調査し、平成29年度に協議会において中間評価を受け、平成31年度には最終年度として報告および評価をしていただくこととなります。以上になります。ご検討お願いいたします。

<委員>

資料5について委員の皆様ご意見・ご質問ありますでしょうか。

協議事項3 その他について事務局からお願いします。

<事務局>

その他としまして、ノロウイルスなどで配慮している点など、委員の皆様の方から情報交換などがありましたら聞かせていただければと思います。よろしく願いいたします。

<委員>

それぞれの立場で取組されていることがありましたらお願いします。

<委員>

食品を扱っている飲食関係が多いのですが、基本的には手洗いを徹底しています。かかってしまったら休ませるようにしています。保健所の指導のもと行っています。

<委員>

先ほど発言しようと思っていたのですが、第2次食育推進計画の数値ではなく、具体的な取組みを評価するというのは、大変良いことだと思います。食育という言葉は理解しているが、言葉だけが先行してしまっているような気がします。どういう風にしたら健康になるのかが浸透しなければ意味がないと思います。健康に生きるという根底には食育が大切ということだと思います。中身を掘り下げ、徹底していければいいのではないかと思います。

<委員>

私どもは料理教室や食育に関してサークル活動をしておりますが、細かいところまで洗う手洗い、熱湯消毒、洗浄などをしております。初めての方は驚かれますが、丁寧な指導をしております。今後も衛生管理をしっかり指導していきたいと思います。

<委員>

農協としましては近年継続して行っているのは、青壮年部を中心に市内小学生を対象に平成25年度は13校、じゃがいも、さつまいも、だいこんなど種植え、中間作業、収穫までの土と触れ合う作業を“食農教育”という形で取り組んでいます。体験した子どもたちから「おいしかった」などの感想文をもらって、こちらとしても励みになります。来年度も継続して取り組んでいけたらと思っています。

店舗もありますので対策としましては、入り口にはアルコール消毒も用意して来所する人に使用してもらっております。職員はインフルエンザ、ノロウイルス等に発生しないように手洗い・消毒・マスク着用を徹底しております。

<委員>

食品衛生の分野ではございますが、年明けからは、農薬マラチオンの電話対応に追われていましたが、落ち着いたところで、ノロウイルスの相談対応に追われております。

また本日ですが、給食施設を対象に「給食施設における災害時の備え」という講習会を行いました。食の安全、安心を含めた危機管理について保健所の大切な役割と考えておりますので今後も情報提供等充実させていきたいと思っています。

東京都の計画を受け、多摩府中保健所では北多摩南部地域医療推進プランということで圏域の保健医療計画であり健康増進計画の役割を合わせ持ったプラ

ンを今年度から 5 年間改訂してたてております。

その中に食を通した健康づくりという項目があり、皆様と協力して食育を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

<委員>

今後も委員の皆様から専門的な意見を伺いたいと思います。また、PDCA サイクルをふまえて、事務局側が第 1 次食育推進計画の見直しをしっかりと行い第 2 次食育推進計画に生かしていければいいのかと思います。

食生活を変える、特に関心がない人にどう啓発していくかは難しい事だと思えますが、今後も引き続き食育推進は継続・啓発が大切となっていきます。

よろしく申し上げます。

<事務局>

閉会

議事進行ありがとうございました。また委員の皆様には議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

平成 25 年度の食育推進協議会は今回で終了となります。委員の皆様のご協力を改めてお礼を申し上げます。

本年度の会議を土台に来年度以降二次計画の策定を進めてまいります。

今後の流れですが、事務局では今後 25 年度の事業実施状況等を把握した上で第 1 次食育推進計画の最終評価を行う準備を進めるとともに、本日いただきましたご意見に基づき第 2 次食育推進計画の策定準備を進めていく予定です。

それでは、本日の会議はこれで閉会となります。ご協力ありがとうございました。